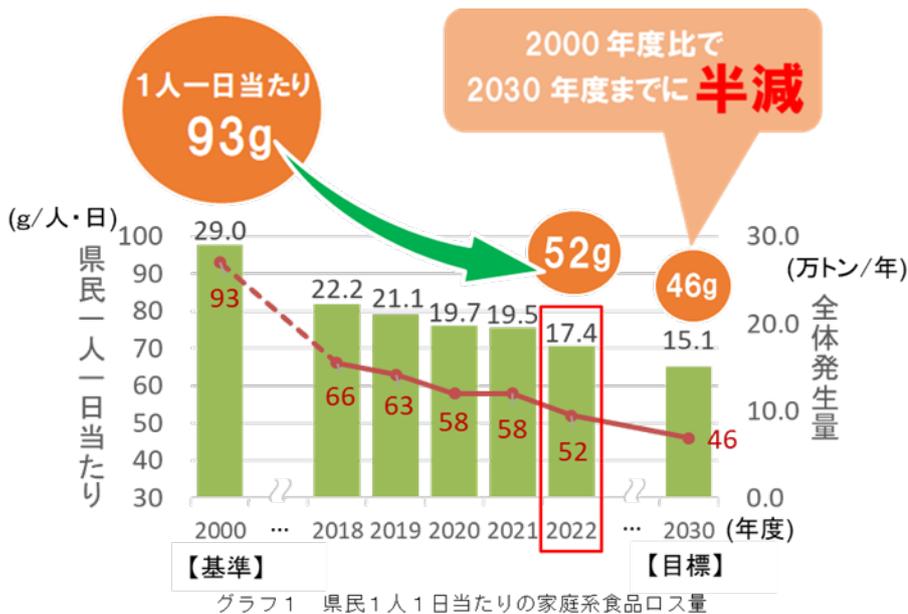


神奈川県食品ロス削減推進計画に係る目標の達成状況

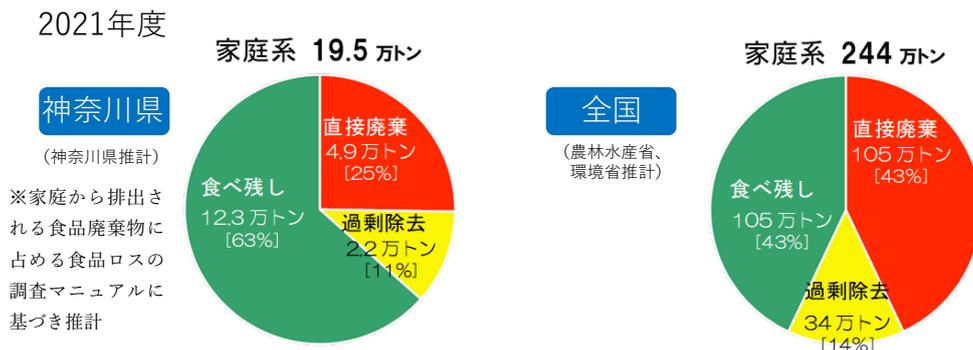
「神奈川県食品ロス削減推進計画」で掲げている家庭系食品ロス及び事業系食品ロスの削減目標について、目標達成に向けた進捗状況は以下のとおりです。

1 家庭系食品ロス量

- 家庭系食品ロス量の削減目標は、県民1人1日当たりの食品ロス量を2000年度比で2030年度までに半減（93g/人日→46g/人日）としています。
- 2022年度の家庭系食品ロス量は17.4万トンで、県民1人1日当たりの食品ロス量に換算すると52g/人日、2000年度比で約41g/人日削減（▲44%）となっており、2018年度以降減少傾向で推移しています。
- 全国の発生量と比較可能な2021年度の推計値をみると、本県の発生量は全国の約8%程度となっており、発生状況の内訳は「食べ残し」が約63%を占め、国よりも大きな割合となっています。
- このことから、家庭における日常生活での買いすぎ・作りすぎの抑制、食べきる習慣に関する意識啓発などの取組を進める必要があると考えられます。



グラフ1 県民1人1日当たりの家庭系食品ロス発生量の推移



グラフ2 家庭系食品ロス発生量（2021年度）の内訳（神奈川県、全国）

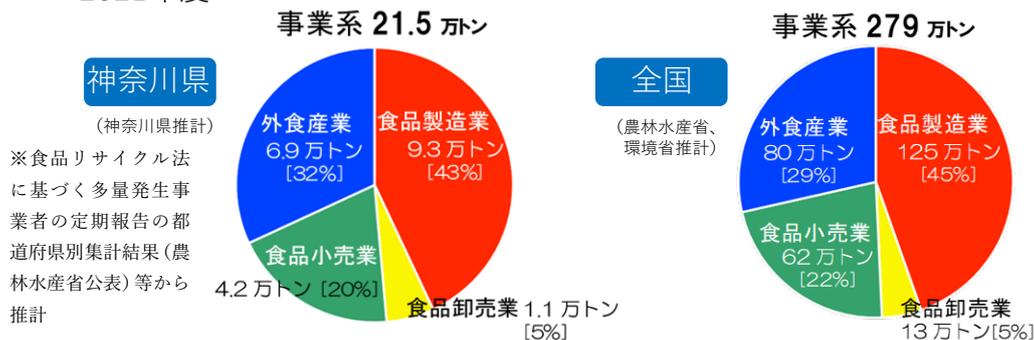
2 事業系食品ロス量

- 食品産業等の事業活動から発生する事業系食品ロス量の削減目標は、県内で発生する事業系食品ロス量を 2000 年度比で 2030 年度までに半減 (44.2 万トン→22.1 万トン) としています。
- 2021 年度の事業系食品ロス量は 21.5 万トン で、2000 年度比で約 22.7 万トン削減 (▲51%) となっています。
- 直近では 2 年連続で目標を達成していますが、これは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として実施された、飲食店等の営業自粛による発生量の減少が大きく起因していると考えられます。また、2021 年度には目標を達成しているとはいえ、前年度より 0.6 万トン増加していることも踏まえ、次年度以降も引き続き発生量の推移を注視する必要があります。
- 2021 年度の全国の発生量と比較すると、本県の発生量は全国の約 8% 程度となっており、発生状況の内訳は「食品製造業」が一番大きな割合となっていますが、「外食産業」は約 32% と国よりも大きな割合を占めています。
- このことから、食品関連事業者が排出する規格外品等の未利用食品をフードバンク団体へ提供、外食産業から発生する食べ残しの削減、などの取組を進める必要があると考えられます。



グラフ 3 事業系食品ロス発生量の推移

2021年度



グラフ 4 事業系食品ロス発生量 (2021 年度) の内訳 (神奈川県、全国)